



2014年12月14日発行

No.36

早稲田大学本庄高等学院通信

発行：早稲田大学本庄高等学院 発行人：吉田 茂 〒367-0032 埼玉県本庄市栗崎239-3 ☎0495-21-2400 【URL】http://www.waseda-honjo.jp

スクナビコナからアヅマエビスへ

学院長 吉田 茂



出雲のスクナビコナの名に相応しからぬ大柄な兼築信行学院長からアヅマエビスである小柄な吉田茂がその職を引き継ぎ早や二か月がたった。僅か二か月ではあるが、学院には様々なことがあった。三年生の修学旅行、稲稜祭、シンガポールのNJC生の来校、SSH成果報告会と行事が連続した。そこで生徒たちは、陽光の「燦燦」稲稜祭のスローガンたる輝きのごとく、命の輝きの一端を見せてくれた。頼もしい限りである。

一方、二人の生徒、いや同志を他の道に進ませねばならぬことも起きた。学院にとつて悲しい出来事である。J・デューイの言葉を借りて、「学校は社会の縮図だから仕方がない」と慰める者もあったが、これは曲解で、その言は、学校とは社会の単純な複写ではなく、理想的な未来社会を具現する場所だとの謂いであることを思うと、同志を失ったことには納得できず、白居易の「人非木石皆有情」の詩句をもじって「石にあらず傷む我をば救はなむ」とよもせる若人の声「と詠んだところで、その気持ちを鎮めることはできない。

明るいニュースもあった。今年も保護者向けのキャンパスツアーが幹事の皆様や学部の先生方のご尽力で毎回盛況裡に行われた。半数の学部で、学院のOB・OGが学生生活を紹介したり、時には保護者の皆様からの質問を受けたりする方式を取り入れていた。国際教養学部の説明会ではOGの杉江優里香さんが、学部に進まれまさに水を得た魚、いや人魚姫のように美しくなった彼女がボストン大学への留学のこと、第一志望に内定した就活のことを生き生きとお話された。これに魅了された保護者から質問攻めに会っていたのが

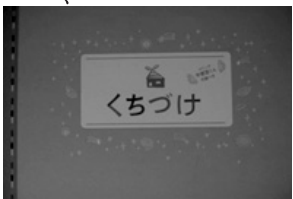
印象的であった。卒業生の活躍を見るのは教員にとつて嬉しいことだ。

十一月五日の芸術鑑賞教室では、現在芝居やテレビで大活躍の宅間孝行氏（五期生）をお迎えし、堤幸彦監督の映画「くちづけ」（二〇一三年公開、演劇「くちづけ」は二〇一〇年上演）を観た。この作品の原作・脚本を手掛けた宅間氏は「うーやん」役で出演もしている。内容は重い。知的障害者、その妹の結婚問題、父子の問題、グループホームの問題、我々の差別意識など、宅間氏が新聞で見付けた小さな記事から発案創造したこの作品は我々に様々な事をぶつけてきた。それを観る我々は笑いもし泣きもした。そして大いに考えさせられたのである。

また、この作品には本庄愛が漲っている。本庄駅のカットに始まり、市の北を流れる利根川を経て市街を映す最終部のカットに至る所で「本庄」が鏤められている。さらに東京での活躍を夢見る夏目の「そうだいねえ」「俺訛ってねえです」という県北訛りも本庄を強調していると言えよう。ここに宅間氏の「本庄愛ひいては本庄学院愛を認めることができるのである。

杉江さんと宅間氏の活躍は卒業生の活躍の一端にすぎない。こうした学院を愛する卒業生の活躍や在校生の命を輝かそうとする熱情があれば、本庄学院は安泰である。

スクナビコナが出雲国を造った後、常世国に帰ったように、兼築先生は彼にとつての常世の国、文学の世界へと帰って行った。アヅマエビスの吉田には帰る所はない。いま暫くこの大久保山で若者たちの命の輝きを見ていようと思っている。



稲稜祭に新たな歴史を

稲稜祭実行委員長 3年G組 松井優也



四月十日、第一回稲稜祭実行委員会が行われ、それから半年間、執行部を中心に半年以上かけて稲稜祭のために準備を進めてきた。その稲稜祭の背景について少し触れておきたいと思ひます。

まず、実行委員として学院生の道しるべともなったスローガンについて。今年のスローガンは「燦燦」学院生に太陽のように燦燦と輝いてほしいという願い。そしてずっと雨天のなか稲稜祭が行われ、きたため今年こそは晴れ渡る空の下で稲稜祭を開催したいという願いがこめられていました。当日、紺碧の空を仰いだときは、こみ上げる高揚感と共に、みんなの思いが作つたこの最高の舞台を最良限生がしたと思ひました。



二つ目に、現三年生以降の生徒は皆旧校舍を知らないというところ。私たち三年生が入学した年から新校舎へ移行され、私たちの高校生活が始まる。ここに新校舎での稲稜祭の歴史も始まったのです。そんなことから、新校舎世代としての責任と誇りを勝手ながら抱いていました。また、それは相反することですが、今年が現大教室を使最後代であるということ。普段は学年集会等で使われるこのホールですが、来年度から新たに新校舎近く、稲稜ホールが建設されるということで、稲稜祭で大教室が使われるのも今年が最後でした。そんな最初でもあり、最後でもある私たちは大きな節目の学年であり、その誇りと責任を胸に、様々な革新を行い、新たな風を吹き込もうと奮起したのです。

ここからはそんな革新に向けた学院生の努力の日々を知って頂くと思ひます。まずは、執行部を中心に考えた構想案について。執行部の三年生の思ひは、ついでに、なにか新しいことを自分たちの手で始めようということでした。その思ひを胸に、さまざまな計画が進みました。一番大きかったのは中央ステージの移動です。新校舎になつてから二年間、玄関正面の芝生の上に設置されていたステージを今年度は校舎を挟んで反対側の広い空き地に設置しました。様々な団体のステージや中夜祭、後夜祭が行われる稲稜祭の中心ともいえる場所故、その成功が稲稜祭全体のモチベーションにもつながり、大きな躍進の一歩となりました。

次に衣装について。実行委員の美術パートを筆頭に一学期から活動を始めました。わざわざ夏休みや放課後に美術室へ来て手伝ってくれた実行委員や美術部の方々の苦勞には感謝しています。その甲斐もあつて大好評だった正面玄関上のステンドグラスを始め、素敵な校内装飾を完成させることができました。巨大なあのステンドグラスは今年が初挑戦の試みだったので、一抹の不安もありましたが、学院生やお客さんが「すごい」「きれい！」「と誉めてくれているのを聞いて本当に嬉しく思いました。



イベントと広報についても新たな試みが行われました。中央ステージの移動で空いた前敷地にバンチを並べ、プラスバンド部の演奏などを行うステージを設置したり、ステージの移動に伴つて中夜祭のイベント内容に新たな企画を組み込んだりもしました。広報では、今までの学院生向けの内容が多かったパンフレットとは打つて変わつて、全く新しいパンフレットを作りました。

これらの試みは反省点も多くありましたが、そこから学ぶこともありました。後輩にいい刺激を与えられたと思ひます。それと同時に、このたさんの革新が稲稜祭の歴史に新しい風を吹き込み、より一層グレードアップさせることができたと思ひます。新しいことを始めるというのは本当に大変で勇気がいることで、私一人の力ではどうにもできなかつたことです。そんな理想を形にしてくれた実行委員の皆様や、諸先生方、その他多くの学校関係者のみなさんには心から感謝しています。みんなの力で得たこの成功は何より嬉しく、一生の宝物になると確信しています。最高の稲稜祭でありがとう！



10月のある日、放課後にこんな放送をした。一大きなオスの野生の鹿がキャンパス内にいるとの連絡が市役所からあり、た。野生の鹿なので見かけても近づかないでください。一淡々と伝えるべく努力しながらも、こんなことを放送で言っている自分が信じられなかつた。ラウンジなどにいる生徒からは「えー？」「コワイ！」「と声が挙がったそうだ。

北海道江別市の学校での勤務経験がある先生に伺うと、鹿の出現は「時々ある」、熊が出たときは「生徒を校庭に出しません」とのこと。本庄市民の方が撮った問題の牡鹿の写真をあてて見せてもらった。立派な体格だ。どこで何を食べて成長したのだろうか？

それ以来、鹿やイノシシ出没の報道が気になつて仕方がない。ある記事では、人里へのイノシシなどの出没の増加はドングリの不作も一因だとあった。ドングリの不作？誰かがドングリの量を毎年調査しているということなのか。

唐突だが、4世紀頃の埼玉県の風景を想像してみる。ご存じの通り、埼玉と群馬は古墳が多い地域だ。新幹線の車窓からは、シンガポールNJCの先生が「stunningly beautiful」と感嘆された美しい田園風景の中に、姿のよい小さな古墳を何基か見ることができた。学院グラウンド南側の塚本山には東西に伸びる稜線に沿つて100基以上の円墳（塚本山古墳群）がある。

大久保山はかつての「里山」だ。今も採れる栗・キノコ・自然薯、鹿やイノシシも古墳を作つた人々の貴重な食料になつたろうと、と夢想して、ちよつと待てと思ひ直す。

大久保山が、人の手が加わる自然循環システム「里山」になつたのは近世のはずだ。古墳時代の原風景は、植生は、食生活はどのようなものだろう。朝鮮半島からの渡来人も多くいたと聞か、どんな言葉が話されていたのか。当時の言葉が今も痕跡として方々に残っていないのだろうか。

（餅）

修学旅行を 振り返って

3年生は9月29日から5日間、台湾・韓国・沖縄コースに分かれて修学旅行へ行きました。

台湾コースレポート

3年E組 富山 美桜

台湾コースの理由

私が台湾コースを選んだのは他でもない、臭豆腐を食すという目的ただ一つであった。この単純な願望は私の修学旅行という思い出作りにどのような影響を与えただろうか。

意気込み

この余白に用意された「○○○」というノルマはプレッシャーとなり、私に振りかぶる。生憎だが、私は作文が苦手だ。

しかし、修学旅行の実行委員長という立場を自ら担った責務を果たさなければならぬ。旅の思い出は人それぞれだ。したがって修学旅行のレポートを総括することはできない。ここにはあくまで私自身が感じた修学旅行の楽しさをいくつかの章立てをしつつ記す。

成田空港までの道のり

私は出発前のわくわく感が思い出に残っている。多くの学院生が成田エクスプレスで空港へ向かったようだが、私は時間はかかるが比較的安価な京成成田空港線アクセス特急を使って空港第2ビルまで辿り着いた。天気が良く窓辺の景色を楽しんだ。昼近かったせいakaあまり混雑することもなく、最寄駅からスーツケースの取手部分を壊していた私にはありがたかった。

飛行機の中

周りが全員同級生の機内はとても新鮮だった。機内では15時くらいに機内食がでた。成田から台湾までは3時間ほどで到着した。私は普段、飛行機に乗らないので非日常の空間にテンションが上がった。飛行機にはドリンクや映画など、なぜ無

料のサービスが多いのだろう。新幹線にも無料で映画を観られるモニターを作ってほしい。

外国に行くということ

後輩諸君にアドバイスをするのであれば、外国へ出向くのだという心構えが必要だ。

別に構える必要はないが、意識はしておいた方がいい。身近に感じた例を挙げてみよう。異国の地で口にする料理が最高に美味いと感じることはそうないはず。なぜなら私達が日本人だから。普段食べ慣れた日本料理を台湾で食べても仕方がないだろう。「まずい」と一言で片付けるのではなく、料理の特徴、味付けを感じることも旅行の醍醐味のひとつだ。別にまずかつたらまずかつたで無理に食べる必要もない。この人達はコレを美味いと言って食べてるのかあ。くらいでコメントを終了させよう。



巨大なマスタダンパー

台北101の耐震構造についてそこまで説明を受けた覚えはない。したがって昨年のようにあの馬鹿でかい球体の役割について詳細なレポートを書くことはできない。今年の地理Aの中間テストに修学旅行の問題が出たが、私は空欄を一つも埋めることができなかった。

言葉の壁

台湾は基本的に中国語を話すようだった。中国の北京語とは少し違うのだろうか。英語もほとんど差し支えなく通じる。さらに嬉しいことには、台湾は大変な親日派で日本語がたまに少しだけ通じるところがあるのだ。私はそれほど言葉の壁を感じることなく6日間を過ごした。そ

れは、台湾人のおおらかな雰囲気助けられたことに加えて、ホテルのチェックインからレストランの予約まで全て手配済みであったこともある。スケジュール管理をしてくれたJTBの皆さんには感謝している。

「食」



よく先輩方に、台湾はメシがまずいから止めておけと言われたことを思い出す。だがしかし臭豆腐は美味しかった。私が臭豆腐について美味しさを伝えたいと思う。あの臭きの原因は発酵だ。夜市でよく売っていたのを見かけたが、店によって味付けなどはアレンジされているようだった。私が食べた店ではまず発酵済みの豆腐を油で揚げ、甘辛いタレやキャベツの漬物と一緒に食すスタイルだった。無機質な味食感の豆腐を発酵させることによってコクを生み出し、濃い目の味付けをすることでパンチを効かせたクセになる味わい。これぞ、永く愛される定番グルメといえよう。

韓国修学旅行

3年D組 近藤 早也那

今年は89人の生徒が韓国コースに行ってきた。そこで体験したことや学んだこと、韓国の魅力についてこの場を借りてお伝えしようと思う。

私は海外旅行が初めてだったので修学旅行で海外に行くことを楽しみにしていた反面、少し不安な気持ちもあった。韓国は日本とても近く交流も深いものの、私はあまりどのような国かはわかっていなかった。私は英語があまり得意ではないので、言語が異なる土地で過ごすことができるのか心配だった。

修学旅行当日、日本を飛び立ち2時間半ほどであったという間に釜山に着いた。しかし韓国の地に足を付けてもまだ「韓国にいる」という実感はなかった。空港に着いてから言われるがままにガイドの方に付いて行き、釜山タワーに向かうためにバスに乗った。バスの窓から外の景色

を見てやっとな韓国にいるんだと実感した。なんと書いてあるかわからない韓国語の看板でいっぱいなの町並み、日本ではあまり見ない程の急な坂が多く存在する道路、立ち並ぶ多くの高層マンション、その車窓から見える景色は日本とは違った雰囲気を醸し出していた。

今回の修学旅行韓国コースでは釜山に1泊、ソウルで残りの4泊を過ごした。世界遺産に登録されている景福宮や水原華城を観光したり、ソウル大学を訪ねたり、現代美術館や博物館を回ったり、韓国の伝統芸術公演「美笑(미소)」を鑑賞したりなど、とても充実した日々であった。

「美笑(MISO)」では韓国伝統文化の神髄をなす、歌楽・舞踊・風物(フンムル)・器楽の4ジャンルを絶妙に組み合わせたプログラムで、私達を魅了してくれた。韓国語での劇であったので内容がわかるか不安であったが、行く前に韓国人のガイドさんがあらすじを話してくださったおかげで楽しむことができた。

また私が韓国の修学旅行で一番楽しみにしていた韓国料理はどれもとても美味しかった。チヂミやビビンバ、ブルコギ、骨付きカルビなどたくさん韓国料理を堪能した。キムチは毎食出てきたのだが、お店によって酸味が強かったり辛かったりという味は全く異なり、毎食「このキムチはどんな味だろう」と楽しみながら食べていた。

そして何より韓国の人々と触れ合うことができた学校交流。私達が交流した安養外国語学校は、日本語コース、英語コース、中国語コースに分かれていて、外国語学校ながら医学部を初めとする優秀な大学への合格者を出すエリート高校である。私の交流相手は日本語コースの一つ年下



の女の子だった。話してみると驚くほど日本語が上手で、所々単語を思い出すのに時間がかかってしまうものの、終始日本語で会話をすることができた。「希望の靴」の作業に2人で取り組みながらたくさんのお話をした。その子とはメールアドレスを交換して、今でも交流を続けている。

韓国コースでは5日目は朝から夕方まで明洞付近で自主研修を行った。買い物したり、観光をしたり、チマチヨゴリを着たりなど、各班様々な楽しみ方をしていった。中には美容室に行つて髪を切ってもらった人もいた。私たちの班はカフェに行つてまったりとお茶を飲んだり、仁寺洞で町並みを眺めながらショッピングをしたりした。カフェでは日本語のメニューも用意されており、店員さんも日本語で接客してくれるなど日本人に対して様々な配慮があることに驚いた。

5泊6日間の韓国の旅で、私たちは多くのことを経験し、そして学んだ。この経験を生かし、これからもさらに多くのことを自ら学び、自ら問い、成長していきたいと思った。

沖縄修学旅行報告

3年C組 本川 俊

私がこの原稿を書いたのが11月23日です。で、沖縄県知事選で基地移設反対派の翁長氏が当選したのはつい1週間前の出来事になります。周辺住民の方々が理想として県外移設を訴えているというような報道はよく目にします。私は米軍基地と沖縄との関係を知りたいと思い、思い沖縄コースを選びました。基地による騒音があるのならそれを聞き、あわよくば周辺住民のお話も伺おうと思っていました。しかし残念なことに台風接近による予定変更で基地見学はカットされてしまい、その部分は叶いませんでした。基地については今後も関心を持ち続けたいと思います。



西表島では雄大な自然が広がり、竹富島では四方を石造りの塀で囲まれている家屋や、漆喰で固められた屋根を見られ、私が普段生活している様子とはまた違った生活を感じることができました。敷地の塀に沿って植えられたフクギ・モクマオウ・ハイビスカスなどの樹木も見ることでできたり、魔除けのためのシーサーの像を見ることができたりしました。道で出会ったヤギがかわいかったです。それ以外の、たとえば那覇市で私たちが訪れた場所は、本州とあまり変わらない景色だったことも、私にとっては新鮮でした。やはり現地に行かないとわからないことは多いと思います。

この5泊6日の間、自分の興味に従って、その他、資料館や食事など、いろいろなものを見て、触れることができました。この場をお借りして、沖縄旅行でお世話になった皆様、また快く送り出してくださった皆様に感謝申し上げます。



Super Science High School 事業報告 (2014年5～11月)

※主なプログラムのみ掲載します。単発の講義・講演等は紙面の都合上割愛いたします。

1. 本市立藤田小学校との連携活動

2012年度より河川研究班メンバーが藤田小学校5・6年生の総合学習の講師を務めています。今年の河川研究班は、3年清水皓裕、2年尾林舞香・山川冴子・佐藤裕友・溝口滉太、1年荻野結衣・玉手萌衣・垣鍔結衣・久保田怜奈です。

6月18日・10月29日に元小山川・小山川で合同の河川調査を実施しました。また、以下のような授業を実施しました。

- * 6月4日「川にはどんな生き物が住んでいるんだろう？」「バックテストの使い方」「河川調査時の注意」
- * 6月11日「プレゼンテーションの名人になろう！」
- * 9月10日「ミクロの世界 ～顕微鏡を覗いてみよう！～」
- * 10月22日「データから何がわかるんだろう？」

この他に、藤田小の文化祭にあたる「藤っ子祭(11月8日)」に1～6年生に対して2講座「チリメンモンスターを探そう！」を実施しました。この講座は、ちりめんじゃこの中にたまに見かける小さなタコや魚を集めて、ちりめんじゃこの住んでいた海の環境を考えようというユニークな試みです。



2. 「これがサイエンスだ！」「これがデータ分析だ！」実施

昨年より実施して好評な、本校教員による自前のSSH輪講「これがサイエンスだ！」に加え、今年は「これがデータ分析だ！」も開始しました。

* これがサイエンスだ！

(ア) 第2回 6月10日「相対性理論入門

ー特殊相対性理論を知ろう！ー」

(イ) 第3回 11月12日「100万年前の虫を見る！」

* これがデータ分析だ！

(ア) 第1回 5月26日「アンケート設問の基本」「主成分分析の基本」

(イ) 第2回 6月19日「テキストマイニングの基本」

3. Singapore National Junior Collegeとの交流

NJCは、2007年度より姉妹校提携をしているシンガポールの学校です。

* 単に訪問するだけでなく、TV会議を行うことがこの交流の目玉です。7月10日、10月28日に実施しました。

* Waseda-NJC Exchange Programme(シンガポール研修、7月21～27日)

3年新里真奈美、2年大堀慶奈・尾林舞香・市川なつみ、1年木村歌那・飛知和志帆・岡部拓真・菊地環・井出桜月・高田海牙が参加しました。共同研究ミーティングの他、ナイトサファリ・Singapore Science Centreでのワークショップ・Singapore Botanical Gardenでのワークショップ等を行いました。

* NJC-Waseda Exchange Programme(11月1～7日)

NJC生徒10名、教員2名が本庄学院を訪問しました。



4. 小笠原研修(8月30日～9月4日)

3年坂本玲、2年山川冴子・高山千恵・秦絵里香、1年吉田日菜子・轟昇也・伊藤三瑠・梅津怜・斉藤夏生・畑蘭乃が参加しました。母島こども科学教室、乳房山・クワの木における植物観察、海洋生物観察・ナイトツアー・南島におけるワークショップ等を行いました。



5. 南三陸研修

この研修は2013年度より、地域NPO法人のご協力の下、震災被災地の様子を自分の目で見ることに、被災復興に何ら

かの形で関われる機会を作ることを目的に、実施しているものです。3年清水皓裕・猪俣翔平・田中楓大・寺村まどか・小野元暉・加藤洋見・阿久津裕亮・2年溝口滉太・山川冴子・尾林舞香・佐藤裕友・稲玉侑里子・川口穂夏・1年久保田怜奈・荻野結衣・玉手萌衣・垣鍔結衣・叶万晟が参加しました。



6. SSH特別輪講「世界の環境問題を考える！」

学院生が世界で進行する環境問題について知るきっかけにすることと英語の講義に慣れることを目的に、海外からの若手研究者を招いて、計3回の輪講を行いました。講義・質問はすべて英語です。

*第1回 9月24日 “Competition between Medaka (Oryzias Latipes) and Mosquitofish (Gambusia Affinis) under Different Temperatures (メダカとカダヤシの異なる温度下における生存競争)”, Wang Jingling (China)

*第2回 10月20日 “WATER POLLUTION PROBLEMS IN INDIA- HOW TO OVERCOME?(インドの水汚染の実態 ～どう克服すべきか？～)”, Ranjusha V P (India)

*第3回 11月17日 “Endocrine disrupting chemicals. What are important chemicals and how to manage?(内分泌臓乱物質をいかに取り除くか?)”, Vo Huu Cong (Vietnam)

7. SKYSEFとそれに先立つ台湾研修

SKYSEFはSSH校である静岡北高校が主催するEnergy, Environment, Biodiversity分野に話題を絞った国際高校生科学フェアです。本庄学院は毎年連携校として参加していますが、今年度はこれに先立ち国内2校が招待を受け、台湾研修に参加しました。

* 台湾研修(7月13～19日)

2年尾林舞香・山川冴子が、名城大学附属高校・静岡北高校生とともに参加しました。台北の麗山高校を会場に、建国中学・彰化中学との生徒と課題をこなすとともに、科学教育館・天文館でワークショップを行いました。



* SKYSEF(8月9～12日)

本校からは尾林舞香・山川冴子・市川なつみが参加し、“Creating Micro Hydroelectric Generator and Studying Its Practicability(小型水力発電装置の作成とその実用性の研究)”の研究について発表をし、Energy部門で1位を獲得しました。

8. JSSFおよびそれに先立つ研修

JSSFは、SSH校である立命館高校が主催する世界で最も規模の大きい高校生科学フェアです。本庄学院は第1回よりずっと参加しています。今年度は、参加者がそれに先立つ研修にも参加しています。12月にはタイ研修も予定されています。

* JSSFに先立つ筑波研修(7月18～20日、参加生徒3年片亀榛花・2年阿左美優花)

筑波の研究施設で、JSSFに参加する生徒たちが研究者たちの講義を受講し課題に取り組みました。

*JSSF(11月7～12日)

新しいキャンパスとなった立命館高校長岡京キャンパスにおいて開催されました。本校からは、片亀・阿左美が”Air Radiation Dose Reseach(空中に存在する放射線の調査)”, 2年市川なつみがNJC生徒との共同研究成果として”Checking the emission of light in the luminescent phenomenon using an ultrasound transducer (Langevine type)(高周波数下におけるソノルミネッセンス発光)”の2テーマについて口頭発表とポスターセッションを行いました。



9. WaISES2014迫る！(12月16～21日)

WaISESは本庄学院が主催する国際高校生科学技術シンポジウムです。スタッフも決まり、エントランスのWelcome Flagも完成しました。12月16日の開会式(16:00～17:30)、17日の研究発表・ポスターセッション・文化交流、20日の閉会式は一般の見学が可能です。どうぞ、学院生の活躍をご覧いただくとともに、未来の科学者たちの研究成果を見ていただければ幸いです。



大久保山の未来

本誌において、過去に同名の不定期連載がありました。なんと確認できる最終回は、2002年12月発行の第9号、本庄早稲田国際リサーチパーク工事の記事！今回はこのコーナーを復活させ、現在、改装工事が進む旧芸術・科学センター工事の様子をお届けします！



校舎正面入り口から300mほどに位置するこの建物は、かつて、早稲田大学芸術科学センターとして使用され、当時の映像撮影・編集・音響の最先端機材や特撮スタジオが設置されていました。GITS(大学院国際情報通信研究科)、GITI(国際情報通信研究センター)の研究室を中心とした教育・研究活動が展開され、また、著名な映画監督が日夜作品の撮影、編集作業を行いました。映像人材を多数輩出し、数多くの優れた作品を世に送り出したその建物を本学院は活用し、428名収容(予定)の大ホール「稲穂ホール」、図書室、音楽室を備えた複合施設に改修することになりました(2015年末竣工予定)。

12月3日、工事が着々と進む現場を取材しました。

工事全体の85%程が進んでいる建物内部は、図面通りに壁で仕切られ、各部屋の大きさがわかる状態でした。取材当日は、天井の塗装作業などが行われていました。



建物入口から音楽室・稲穂ホールへと続く廊下は、南側に面したガラス張り

で、陽光が燦々と差し込む、明るく美しいアプローチでした。稲穂ホールのステージは、広く、奥行きがあり、機械設備も充実したものとなる予定です。講義や集会のみならず、演奏・演劇・上映・研究発表など、多彩な表現の場としての活用が可能です。

図書室は開架書庫へのアクセスも良くなり、閉架書庫も隣接し、図書も選びやすくなります。閲覧室のほかに自習スペース、グループ討議のスペース等が備えられます。完成すれば、図書室や音楽室へのアクセスは格段に向上します。生徒たちは多くの書物、音楽に触れる機会が増え、瑞々しい感性をはぐくんでくれることでしょう。また、充実した設備を兼ね備えた稲穂ホールはかつての芸術科学センターの魂を受け継ぎ、生徒たちの表現の場として大いに活用が期待されます。

※使用目的、仕様は2014年12月時点の計画。

生徒達の活躍

◆硬式テニス部

インターハイ予選(5月31日、6月1日、6月14日15日)

個人

男子シングルス 木元風哉(1年)3位、相原賢太郎(1年)ベスト32、木元はインターハイ出場
男子ダブルス 木元・岩満大輔(1年)ベスト16
女子シングルス 塩田璃奈(3年)3位、内田帆乃佳(3年)ベスト8、新井由梨(3年)ベスト16、舟橋萌(1年)ベスト32
女子ダブルス 塩田・内田ベスト4
男子団体 1回戦0-3花咲徳栄(D1 相原・岩満2-8石川・山中、S1木元4-8小暮、S2城井0-8八木)
女子団体 1回戦2-1浦和東(D1新井・舟橋8-0木許・鈴木、S1塩田6-8杏名、S2内田8-3佐々木)
準決勝0-2山村学園(D1新井・舟橋4-6、4-1平形・岡本、S1塩田0-6、4-6清水、S2内田6-7(3)、2-6百瀬)



関東大会(6月7～9日

於千葉県白子町)

女子団体 2回戦1-2共愛学園(群馬)(D1新井・舟橋3-6森田・川合、S1塩田6-2女部田、S2内田6-7(5)渡辺)
女子シングルス 1回戦 塩田3-6森崎(富士見丘、東京)
インターハイ(8月6～9日、東京有明)
男子シングルス 木元風哉(1年)、1回戦1-8井上(大分舞鶴)
女子シングルス 塩田璃奈(3年)、1回戦8-3森川(野田学園、山口)、2回戦8-2石津(浜松市立、静岡)、3回戦2-8渡邊(仁愛女、福井)
※塩田の全国ベスト32はすごい成績です！

新人戦地区予選(8月19・20日、9月12～14日)

男子シングルス 優勝木元、5位岩満、9位相原、11位村松大地(2年)、15位照井瑞規(1年)、19位船山貴志(2年)
男子ダブルス 準優勝木元・岩満、4位相原・村松、7位照井・金子曜(1年)
女子シングルス 準優勝舟橋、5位伊藤三瑠(1年)、15位櫻井麻緒(2年)
女子ダブルス 準優勝舟橋・伊藤、5位櫻井・高梨綾希子(2年)

新人戦(9月27・28日)

男子シングルス 準優勝木元、ベスト32相原、ベスト64照井
男子ダブルス ベスト16相原・村松、ベスト32木元・岩満
女子シングルス ベスト32舟橋、ベスト64伊藤
女子ダブルス ベスト8舟橋・伊藤

新人戦団体戦(10月25・26日)

男子(第5シード)1回戦5-0松伏、2回戦4-1越谷南、3回戦4-1所沢北、4回戦1-4立教新座(S1木元6-1西崎、D1村松・照井3-6武田・山田、S2相原3-6尾島、D2船山・金子3-6石畑・浅野、S3岩満3-6星野)
女子(第8シード)2回戦3-2越谷北、3回戦4-1春日部女子、4回戦1-4大妻嵐山

◆ラグビー部

7人制大会で県3位の快挙!!

国体県大会

1回戦 5月31日(土) 慶應志木 54-14 早大本庄

第1回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会埼玉県予選予選リーグ(Fブロック) 6月21日(土)

	浦和工業	八潮南	早大本庄
浦和工業		△19-19	●0-61
八潮南	△19-19		●0-68
早大本庄	○61-0	○68-0	

1位：早大本庄

2位：浦和工業・八潮南(総獲得点・総トライ数が同数)

決勝トーナメント 6月22日(日)

1回戦 早大本庄 22-0 松山

2回戦(準々決勝) 早大本庄 17-12 浦和

準決勝 深谷 50-0 早大本庄

第94回全国高等学校ラグビーフットボール大会埼玉県予選

1回戦 9月20日(土) 早大本庄 114-0 新座

2回戦 9月28日(日) 所沢北 36-28 早大本庄

2016年リオデジャネイロ・オリンピックから正式競技となる7人制ラグビーですが、日本でも今年、記念すべき第1回の高校生全国大会が開催されました。その埼玉県予選において早大本庄チームは、ゲームキャプテン水谷彰裕(3G)の下、持ち前の展開力を縦横に駆使して予選リーグから快進撃を続け、決勝トーナメントでは強豪浦和高校もやぶって見事準決勝に進出しました。準決勝では、攻守ともに巧者深谷高校に圧倒されて残念ながら決勝進出はなりませんでしたでしたが、早大本庄の持ち味を存分に示すことができた大会でした。9月の全国大会予選では、最後、後一歩まで追い詰めたのですが、残念ながら2回戦敗退に終わりました。しかし、昨冬からのFW強化策の成果は明らかに実を結んでいますので、今後が楽しみですなチームです。主将の矢口貴大君はじめ3年生諸君は、これまでの鍛錬をこれからの人生の糧にしてください。なお、高橋康太(2B)率いる新チームによる新人戦が12月下旬から始まります。あらためて応援よろしくお願ひします！また、特に1年生諸君、今からでも遅いということはありません!!興味のある人は是非グラウンドへ見学に来て下さい!!

早稲田大学本庄高等学院の第二ステージ発展に向けて — 教育環境の整備・充実を —

早稲田大学本庄高等学院の次なる教育環境整備に向けて2012年に創立30周年を迎えた早稲田大学本庄高等学院は、5か年にわたり「30周年記念教育環境整備・充実事業募金」をお願いしてまいりました。お陰様で、新校舎ならびに男女生徒寮(早苗寮)が完成し、来春には、同窓生には懐かしい「稲稜」の名を冠したホールや図書室、音楽教室を収めた複合施設(90-7号館)が竣工します。本事業募金は来年3月末をもって終了します。これまでのご支援・ご厚情に感謝するとともに、将来、地球規模で活躍する本庄高等学院生のため、さらなるご寄付を賜りたく、ご協力のほどお願い申し上げます。

◆剣道部

11月9日(日) 本庄児玉都市青少年育成剣道大会 高校一般女子団体戦の部

優勝【1G 大澤滯・1A丸山紋加・2G津久井美樹】

◆ワンダーフォーゲル部

月1回のミーティングと定例山行、夏山および秋山合宿を中心に、部員22名で活動しています。定例山行と秋山合宿は、関東山地での日帰りおよび1泊2日とし、夏山合宿は北アルプスでの縦走登山に出かけます。日帰り登山でも、入山から下山まで7時間程度は歩く健脚コースに設定しています。今年度の秋山合宿は2日間とも快晴に恵まれ、甲府盆地を眼下に見下ろし、富士山から南アルプスまでの山並みを一望できました(写真)、今年度に実施した山行は、次の通りです。



4/27 新歓山行 二子山・武川岳
5/25 定例2回 赤城山
6/15 定例3回 城峯山
7/16～18 夏山合宿Aコース 白馬岳
8/25～27 夏山合宿Bコース 唐松岳
9/23 定例4回 大峰沼・吾妻耶山
10/19 定例5回 鼻曲山
11/3 定例6回 棒ノ嶺・高水三山
11/14～15 秋山合宿 大菩薩嶺(大菩薩峠登山口から丹波バス停まで)

◆陸上部

埼玉県新人陸上競技大会 北部予選会 9月15～16日(熊谷文化スポーツ公園)

男子

200m 優勝 鈴木颯人(2G) 2位 宮川智安(2C)
400m 優勝 鈴木颯人(2G) 2位 宮川智安(2C)
800m 優勝 東 和志(2C)
1500m 6位 東 和志(2C) 7位 沼上翔梧(2G)
5000m 6位 佐藤 光(2E)
110H 優勝 加藤誠也(1E)
400H 6位 神谷 衛(1D)
3000障害 8位 久保大樹(2C)
4X100mR 2位 早大本庄 藤原航大(1B) 関将吾(2H) 岡部裕人(1D) 加藤誠也(1E)
4X400mR 4位 早大本庄 足立智紀(1H) 岡部裕人(1D) 山本飛(1E) 岩崎直哉(2E)
走り高跳び 6位 岩崎直哉(2E)
走り幅跳び 優勝 加藤誠也(1E) 5位 佐藤 匠(2F)
三段跳び 6位 藤原航大(1B)
総合 2位 早大本庄

女子

100m 8位 田島春瑠乃(1F)
400m 5位 宮島瑞生(1C)
800m 3位 宮島瑞生(1C) 6位 中島星来(2B)
4X100mR 6位 早大本庄 田中花梨(1D) 田島春瑠乃(1F) 伊達美希(1D) 秦絵里香(2H)
4X400mR 4位 早大本庄 宮島瑞生(1C) 野口奈津樹(2G) 田島春瑠乃(1F) 中島星来(2B)

走り高跳び 8位 森はるか(1F)
走り幅跳び 7位 鈴木瑠梨(1B)
槍投げ 4位 小栗円香(1H)
総合 5位 早大本庄

埼玉県新人陸上競技大会 9月29日～10月1日(熊谷文化スポーツ公園)

男子

400m 優勝 鈴木颯人(2G) 7位 宮川智安(2C)
800m 4位 東 和志(2C)
110H 5位 加藤誠也(1E)
4X400mR 優勝 早大本庄 岩崎直哉(2E) 東和志(2C) 宮川智安(2C) 鈴木颯人(2G)

女子

800m 6位 宮島瑞生(1C)

関東選拔新人陸上競技大会 10月25～26日 茨城県笠松陸上競技場

男子 400m 2位 48秒46 鈴木颯人(2G)

4X400mリレー 7位 3分19秒03

予選：関 将吾(2H) 宮川智安(2C) 岩崎直哉(2E)

鈴木颯人(2G)

決勝：岩崎直哉(2E) 宮川智安(2C) 東 和志(2C)

鈴木颯人(2G)

全国高校駅伝 埼玉県予選会 11月5日(熊谷文化スポーツ公園)

男子 21位

1区 木村優作(3G)、2区(3km)沼上翔梧(2G)、3区(8km)石川裕貴(1G)、4区(8km)佐藤光(2E)、5区(3km)栗原穂高(3C)、6区(5km)久保大輝(2C)、7区(5km)佐藤誠也(3F)

女子 11位

1区(6km)本間結友果(2A)、2区(4.1km)宮島瑞生(1C)

3区(3km)玉手萌衣(1E)、4区(3km)中島星来(2B)

5区(5km)江幡咲希(1D)

◇ESS部

10月5日(日)獨協大学35周年記念館2階小講堂で開催された、第2回全国高校生プレゼンテーションコンテストで、2年A組山川冨子さんが5位を獲得しました。

この日は、全国193名のエントリーの中から、PPTファイル・プレゼンテーションの録音による1次審査により選抜された10名によるプレゼンテーションが審査されました。山川さんは"Crossing Borders"を選び、健康者と障病を持つ人の間にある心の境界とどうしたらそれを越えることができるのか、について自分の考えを述べました。



エルフィン君 「外国人によるスピーチコンテスト」特別賞獲得！

Arrasyid Ervin, who is an Indonesian student studying for this year in our school, won the special award "The Chief Director of The Young People's Association Prize" among 20 entries at the 22nd Japanese Speech Contest by Overseas Citizens. The title of his speech was "The Impression living in Japan". He talked about the bicycle theft case he suffered. He couldn't find his bicycle in his parking spot where he always uses. He felt sad, but an old man who manage the parking lot helped him so much. Ervin talked about warm-heartedness Japanese people through this incident in his simple 5 minutes' speech.

国人による日本語スピーチコンテ



10th International Intelligent Ironman Creativity Contest 2014

(8月1日(金)～8日(金))

今年度は台中市郊外にある亜州大学を会場として開催されました。参加国は台湾・ドイツ・香港・シンガポール・オーストリア・韓国・日本です。本校からは3年鈴木愛望・片田好・斉藤美里・新里真奈美・増田葉月・岸紗理奈が参加しました。パフォーマンス部門2位(1位のみ賞金)、最終課題5位(3位まで賞金)で、惜しくもどちらも入賞できませんでした。



◇茶道部

茶道部は週2回活動しており、また稲稜祭や国際交流の場でお茶席を開催しております。2014年から、部員達のお稽古の場を増やすこと、皆様に茶道を知っていただくことを目的として、呈茶の席を月1回ほど設けることいたしました。兼築前学院長が「坐來席」と命名して下さいました。呈茶とは、お茶会とは格式の高くない、気軽に喝茶を一服してリフレッシュしていただく場です。皆様、中央階段で看板をご覧になりましたら、お気軽にお立ち寄りください。

* 坐來席

6月3日、7月5日、9月27日、11月5日

* 国際交流歓迎お茶会

7月28日 41. Deutch-Japanischer Sportjugend Simultanaustausch

2014一行14名の歓迎お茶会、11月5日 Singapore National Junior

College一行12名の歓迎お茶会

* 定例お茶会

4月14日新入生歓迎お茶会、7月12日七夕お茶会、

10月25日26日稲稜祭、12月10日クリスマスお茶会、

1月17日お初釜、2月7日卒業お茶会

※茶道部マスコットアイドルほのかちゃんです

(3年A組佐藤礼佳作)。



◇囲碁将棋部(囲碁)

11月16日(日) 浦和高校で行われた、関東高等学校囲碁選手権埼玉県予選 女子個人戦で齊木果穂(2A)が優勝。1月24、25日に埼玉県北本市で行われる関東大会に出場予定です。昨年の大会では3位に入り全国大会に出場し3位になっています。今年も活躍が期待されます。

①早稲田大学本庄高等学院の歴史にお名前を刻みます

累計寄付額に応じて以下の方途により、高額寄付者を顕彰します。

(1)新「稲稜ホール」座席プレート

「本庄高等学院30周年記念教育環境整備・充実事業募金」へ累計30万円以上のご寄付を賜りました個人・団体の方には、2015年竣工予定の「稲稜ホール」の座席にお名前を記すプレートを残します。1枚をお手元にお届けし、1枚を座席に設置いたします。新ホールの座席は428席(予定)。お申込み順に顕彰させていただきます。



【座席プレートイメージ】早稲田大学高等学院講堂の例

【プレートイメージ】

(2)寄付者銘板

「本庄高等学院30周年記念教育環境整備・充実事業募金」への寄付金額の累計が6万円以上の個人、50万円以上の法人および20万円以上の団体につきましては、寄付者銘板にご芳名をしるし、未永く顕彰させていただきます。

申込は保護者会等で配付しております振込用紙の他、Webからも随時受け付けております。http://kifu.waseda.jp/contribution/campus/honjo/ または「早稲田 寄付」で検索。皆様の温かいご支援をお待ちしております。

②寄付実績のご報告

(2014年11月30日現在)



【寄付者銘板】第1期(2010.4.1～2013.12.31 交付分)を顕彰(校舎1階に設置)

寄付者区分	件数	金額(円)
卒業生	111件	8,992,000円
在校生・卒業生保護者	165件	13,620,000円
教職員	54件	12,184,000円
法人	3件	5,600,000円
団体	18件	21,526,834円
合計	351件	61,922,834円